

2004 年度 愛知県スキー連盟 スキー公認検定員 C級検定員検定理論問題

氏名		クラブ名		受験番号	
----	--	------	--	------	--

1. スキー公認検定員規定第2条に定められている(任務)について()の中に
 適当な語句を記しなさい。

検定員は、スキー()の基幹となる人材であることを認識し、
 ()なる判定によって、()を円滑に運営し、
 その()を保持するよう心掛けねばならない。

2. スキー公認検定員規定第3条に定められている(検定の範囲)にあるC級検定員が
 検定できる範囲について()の中に適当な語句を記しなさい。

- (1) スキーバッジテストの内、()
- (2) スキーバッジテストの内、()

3. スキー公認検定員規定第13条に定められている(資格の喪失)について()
 の中に適当な語句を記しなさい。

- (1) 本連盟の規約に違反し、()ような行為があったとき
- (2) 所定の指導員研修会に()したとき
- (3) 資格の停止期間が、()したとき
- (4) その他指導員及び準指導員の()したとき

4. スキーバッジテスト規定第1条に定められている(バッジテストの種類)を3つ記しなさい。

- (1)
- (2)
- (3)

5. スキーバッジテスト規定第17条に定められている級別テストにおける(受験資格)に
 ついて()の中に適切な語句を記しなさい。

- (1) 1級および2級の受験者は、()以上とする。ただし小学生であっても、ジュニアテスト()以上を取得している者であれば、受験することができる。
- (2) 3級、4級及び5級の受験者は、()以上とする。
- (3) 受験者は、()する級を受検することができる。
- (4) 本連盟の登録会員は、()を受けることができる。

6. スキーバッジテストにおける級別テスト1級の種目と斜面について()の中に適切な
 語句を記しなさい。

テスト区分	種目	斜面
1級	○()	○中急～急斜面
	○()	○()
	○()	○中急～急斜面
	○パラレルターン小回り(不整地)	○()
	○()	○()